

あいばあつ子の活動報告



5月12日 長与第二中学校
体育祭



5月16日 改革21
県政報告会



5月18日 長崎県総合防災訓練
長与町民プール



5月18日 長与南地区
コミュニティ総会



5月20日 観光生活建設委員会 視察



5月22日 市長と女性団体の意見交換会



5月28日 名古屋市科学館視察



5月29日 名古屋市立山吹小学校視察



6月9日 第500回 9日の座り込み



6月17日 6月定例会開会日



7月8日 予算決算委員会
理事会

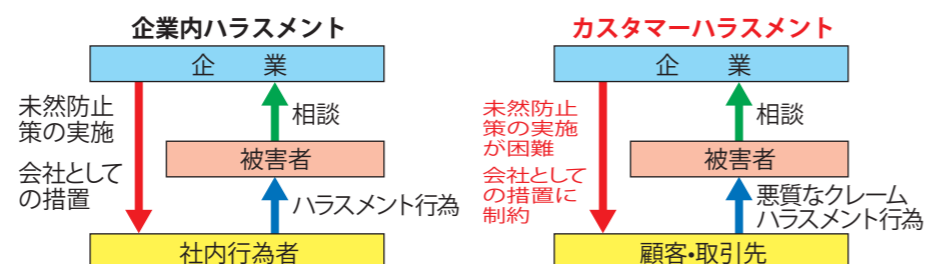


7月1日 がん検診受診率
向上キャンペーン

メンタルヘルス研修の1コマ

カスタマーハラスメントは組織として取り組みが重要です。組織として方針を明確にし、基準を明確にすることで、従業員にもお客様にも良い指針を提供しましょう！

企業内ハラスメントとカスタマーハラスメントの違い



★企業内ハラスメントは、研修や制度によって未然防止の働きかけができたり、行為認定の後、行為者に対して指導や懲戒処分などの措置を行うなど社内で解決を図ることができる。
★カスタマーハラスメントは、雇用関係のない顧客なので未然防止の働きかけが限定的、行為認定の後、出入り禁止や差し止め等は利用約款が必要。訴訟対応が必要となることもある。

笑顔で暮らせる長崎県へ！

長崎県議会議員

あいばあつ子 議会だより



No.18 発行責任者: 饗庭敦子 発行: 令和6年8月

猛暑の候、うだるような暑い夏ですね。外を歩けば一瞬で汗が噴き出します。アスファルトの上を歩いていると、フライパンの上を歩いているような気分になりますね。長崎県では熱中症警戒アラートが連日発表されています。

熱中症による健康被害が生じる恐れがあります。こまめな休憩や水分補給をして、熱中症を予防しましょう！

さて、長崎県では「長崎スタジアムシティプロジェクト」など100年に1度の変革期を迎えています。その中で、大石知事の後援会の政治資金収支報告書への記載をめぐる問題が6月定例会中に発覚し、議会最終日に知事から説明がある予定でしたが、「精査、確認に今しばらく時間をいただきたい」とゼロ回答でした。私たち改革21と他の会派は共に早急な対応を求めました。また予定していたNPT=核拡散防止条約再検討会議準備委員会にあわせたスイスへの訪問取りやめや国への要望も中止となるなど、公務にも影響が出ています。議会としましても、県民の皆さまへの説明と県政が滞る事がないように注視し、知事へ真摯な対応を求めて参ります。

私は今後とも、誰もが笑顔で暮らせる長崎県、誰一人取り残さない社会の実現を目指して、子どもの未来のため、誰もが生きやすい社会になるように、誠心誠意、取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また皆様の不安やストレス、お困りごとは、どんな事でも「あいばあつ子」へご相談下さい。皆様の声を県政へつないでまいります。



ご相談はお気軽に

あいばあつ子事務所

〒851-2130 西彼杵郡長与町まなび野3-6-5 メゾンR102

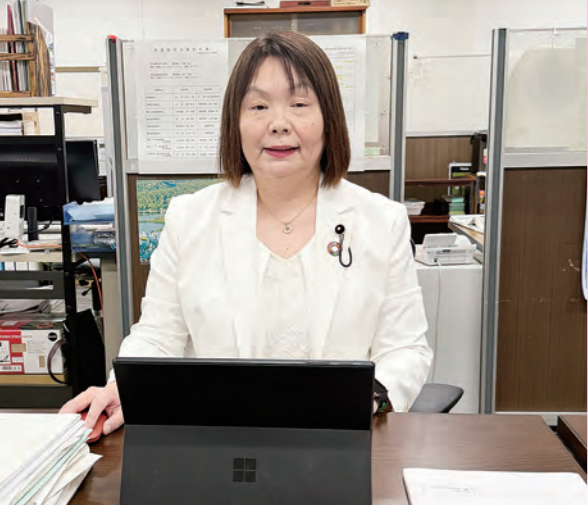
TEL・FAX 095-887-3131

ホームページ <https://aibaatsuko.jp>

メールアドレス aaiba@aatsuko.jp

Facebook <http://www.facebook.com/atsuko.aiba>





6月定例県議会報告

6月定例会が6月17日から7月10日まで開かれ、一般会計の総額で6億8,000万円余り「令和6年度長崎県一般会計補正予算(第1号)」など、24件の議案を原案のとおり可決、承認しました。

また、「地方財政の充実・強化を求める意見書」など5件の意見書及び「九州新幹線西九州ルート整備促進に関する決議」を可決しました。「現行の健康保険証の存続を求める請願」は不採択となりました。

観光生活建設委員会の主な審査内容

今、私が所属している委員会です。

県民生活環境部

Q 性暴力被害者支援、サポート長崎への相談件数は。

A 令和5年721件、令和4年501件、令和3年500件、令和2年478件、令和元年347件と増加している。

Q 性暴力、性犯罪防止には、性教育が重要だと思うが、どのようにしているか。

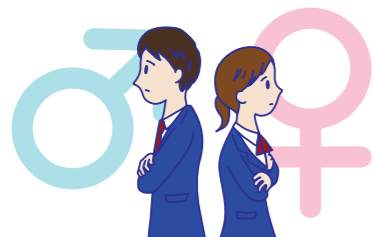
A 平成28年から毎年県内の全中学校高校特別支援学校の全校生徒男女に対して、サポート長崎の名刺サイズの広報用携帯カードを約8万枚配布している。

また学校の要請を受け、中学校・高校・大学に出向いて、犯罪被害者と支援の必要性、2次被害の防止の重要性などに関して講演を行っている。

Q 性教育で包括的性教育の復旧について、長崎性教育コミュニティアスターという事業所が講演をしている。県としても民間と連携してより多くのところで講演できるようにしてはどうか。

A 民間団体の活用は、団体について確認の上、状況に応じて連携し対応していきたい。

<要望> 性被害の加害者にも被害者にもならないように幼少期の頃から教育を進めていただきたい。



Q 県議会2月議会で「人権尊重に関する条例の制定を求める意見書」を全会一致で知事に提出して

いる。条例制定に向けてどのように考えているか。

A 有識者による検討委員会での議論を参考にしながら人権施策のあり方を検討していく中で人権条例の方向性についても検討していく。

<要望> 条例制定を進めていただきたい。

文化観光国際部

Q インバウンドが順調に回復しているが、オーバーツーリズムの状況はどうか。

A 現状、長崎県ではおきていない。しかし、関係者と連携して未然防止に取り組んで行く。

<要望> 条例制定に向けて是非、進めて頂きたい。



Q ながさきピース文化祭2025の開催予定事業は現時点でどれくらいか。また主な内容は。

A 市町と連携して160~170事業。内容は東南アジアのコースオーケストラ、日本遺産のシュガーロード、ダンス&ダンス、ピピリバトル、平和の文化をテーマとしたシンポジウムなど。

<要望> 機運醸成を図って成功へと繋げていただきたい。

交通局

Q 乗り合いバスでのICカードの利用率はどれくらいか。

A 利用率は7割~8割。



Q 熊本県で更新時にICカードから撤退したと報道されていたが、長崎県は大丈夫か。

A 機材が熊本県とは違って通信方式なので、そのような状況にはならないと考えている。

総務委員会の主な審査内容

企画部

長崎県は利便性の高いドローン配送を、全国に先駆けて実現する、「国家戦略特区」に指定された。有人地帯での目視外飛行の迅速な導入や、エリア単位での飛行許可の取得により、注文に応じた軒先への配送サービスの実装が可能となり、買い物など生活の利便性の向上が期待できる。



危機管理部

「特定利用空港・港湾の指定」に関し、「総合的な防衛体制の強化に資する取組」として、長崎空港と福江空港が指定され、有事も見据えた平時の訓練が、スムーズに行われるためのスキームである。このことについて、不安を持つ県民に対して、しっかりと経緯や考え方を説明する必要がある。

農水経済委員会の主な審議内容

水産部関係

赤潮の発生状況は、昨年の被害額は約11億円であった。今回は現在、漁協で確認しているが、赤潮が継続して発生しており、いけすの調査も困難なため、被害額などが判明するには時間がかかる。

真珠養殖は、農林水産統計によると、生産量は令和4年が5.3トン、近年は5トンから6トン台で推移している。また、生産額は令和4年が62.3億円、令和3年が49.3億円となっている。なお、令和5年度の共販実績は、生産量、生産額とも前年度より増加しており、生産額は約142パーセントと大幅に増加している。



農林部関係

「食品衛生法の改正」により漬物製造が6月から完全に営業許可制になった。

文教厚生委員会の主な審議内容

教育委員会

小規模校への教員業務支援員の配置は、「複式学級がある小規模校には、現在、複式学級支援等非常勤講師や再任用短時間教諭等の配置を行い、指導体制の充実を図っている。令和6年度の教員業務支援員の配置は、11市町の要望に合わせて145名分の配置を予定している。

福祉保健部

医師会が設置運営する看護師等養成所は、卒業生の県内医療機関への就業率が高く、医療提供体制を確保するうえで重要。卒業生の県内就業促進を通じて、さらなる支援の強化を図りつつ、引き続き現場の声を丁寧に聞きながら、課題の解決に向けて検討していく。



令和5年3月2日一般質問 意思疎通支援事業費が予算化された

長崎県言語聴覚士会からご相談があり、失語症者向けの意思疎通支援事業が予算化されていないとの事で予算化の必要性を一般質問で質した。令和6年度に意思疎通支援員養成研修事業が予算化され、実施できるようになった。

※失語症とは、脳梗塞(のうこうそく)・脳内出血などの脳血管障害や交通事故・転倒などによる脳外傷によって、大脳の言語をつかさどる部分が損傷されたために起こる言葉の障害を言います。

